

令和8年度 学校園教育指針

姫路市では「第3期姫路市教育振興基本計画」において「未来をひろく
ふるさと姫路の人づくり～すべての人が自分らしく学び、つながる教育を
目指して～」を基本理念に、学校園教育の充実と魅力の向上を図ります。本指
針は、同計画に基づき、各学校園との協働実践のために作成しています。

◆ ワクワクする授業づくり ～探究的な学びのさらなる推進～

総合的な学習の時間などを中心として、問題発見・解決能力を育む「探
究的な学び」を充実させていく。子どもが知的好奇心を原動力とし、探
究のプロセス（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）
を経ながら、自らの考えをアップデートしていくような学習機会を多く
設定する。一貫通貫型の「探究的な学び」をさらに推進し、幼稚園から
高等学校まで、子どもの育ちと学びをつなげていく。

◆ 教育DXの推進 ～デジタル学習基盤を活用した学びの変革～

1人1台端末におけるクラウド環境を前提として、生成AI等の活用もふ
まえた情報活用能力を育み、子どもが自分自身の可能性を広げたり、他
者と協働することでお互いを高め合ったりする学びを実現する。また、
多様なニーズのある子どもに対応する観点も含め、「個別最適な学び」と
「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の
実現に向けて取り組む。

◆ 一人ひとりを大切にした教育の推進 ～多様な背景やニーズをもつ子どもへのきめ細やかな対応～

個別の教育支援計画・指導計画を活用し、合理的配慮に基づいた適
切かつ柔軟な支援を行う。また、日本語指導が必要な子どもの言葉
の習得状況を適切に把握し、重点的な初期指導や取り出しによる指
導など、個別のニーズに応じた指導体制を構築する。これらの取組
により、校園内の支援体制を充実させ、子どもが安心して生き生き
と学校生活を送ることができる環境づくりを推進していく。

◆ 心の通い合う生徒指導の推進 ～すべての子どもにとって安全で安心な学級・学校づくり～

いじめや不登校については、未然防止・早期発見・早期対応に努め
るとともに、ICTを活用した個別支援の充実及びスクールカウンセラ
ーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携した「チーム学
校」による組織的対応の徹底を図るなど、心の通い合う生徒指導及
びすべての子どもにとって安全で安心な学級・学校づくりに取り組
んでいく。

◆ 働き方改革の推進 ～持続可能な体制の構築と教職員のウェルビーイングの推進～

教育の質の向上を図るため、会議や学校行事の縮減・精選、外部人
材の活用、生成AI等による校務・業務の効率化により、教職員が子
どもとじっくり向き合う時間を確保する。また、部活動の地域展開
をはじめとした超過勤務時間の削減や教職員の業務の適正化への取
組を進めるとともに、教職員の協力・協働によりストレスを抱え込
まない働きがいのある職場環境づくりを進める。